

レブンクル自然情報

ホームページから自然情報を カラー版自然情報 礼文島のHP http://www.h3.dion.ne.jp/~ishida_h/index.htm
ゆうひの丘のHP <http://homepage1.nifty.com/seikanso/>

秋の進む礼文林道を歩いて

10月16日礼文林道には落ち葉が積もり、たくさんの小鳥たちが、歩道や笹藪の中で餌を探していました。笹藪の中ではツグミやウグイスの仲間が騒いでいるようで、道で餌を探すのはミヤマホオジロ、アオジ、カワラヒワ、紅葉した木の枝を飛び回るのはシマエナガシジュウカラ、ヒガラ、ルリビタキそして、ウソでした。煙が立ち上り、右に左に流れるように小鳥の群が空を飛んでいました。また今年の礼文の紅葉は例年に無くとても綺麗でした。道内の山々と違い、赤や黄色の際立ちが少なく地味な紅葉ですが、黄緑の笹山の谷間にトドマツの濃い緑に混じってナナカマドやエゾヤマザクラの赤い葉が紅葉しました。例年ですと9月に冷たい潮風が吹き、ほとんどの葉が茶色に枯れてしまうのですが、今年は見事でした。初夏に観光客から「あの白い花は何ですか」と訪ねられたナナカマドも今年は数年振りの豊作で真っ赤な実をたわわに実らせていました。



季節の変わり目は、自然の思わぬ姿が見られます。それは、澄んだ青空、空一面のうろこ雲、通り雨の後の虹、海に立つ竜巻きなどです。海の荒れた海岸に、じっと風雨に耐えるウミネコたちの姿、くだけの波間に餌を探すミツコビカモメ、帯のように沖につながる数百羽のウミアイサの群など鳥たちは越冬地を求めて南下し

ていきます。そんな鳥たちと一緒に眺めませんか。

カモメ観察会

11月11日

(月) 10時
船泊タコ公園
(暖かい格好をして、
双眼鏡等を持参)

参加希望者は宮本まで電話下さい。

2002.9.11.
うろこ雲が見事でした



保護した鳥、拾った鳥の死体、珍しい魚や虫の情報、庭に咲いた花情報など連絡下さい、待っています。

9月の自然日誌

1日曇21.5度。船泊香深昆布漁・利尻見えた。
 2日雨21.3度。強風/礼文滝(ナギナタコウジュ)
 ・やませの森(オオヤマサギソウ、ヤマニガナ)
 ・金田岬で久しぶりにアザラシを見た-優
 ・手然ウミネコ赤ウイングタグ=天売島2002年装着)
 4日快晴23.5度・利尻クッキリ・金田岬アザラシ5頭-優。
 8日快晴20.3度・利尻クッキリ・入舟(エゾチツゼミ)
 9日晴れ一時曇24.7度・利尻見えた
 ・やませの森(ノコンギク、エゾトリカブト、マユミ実)
 ・礼文林道(コエゾゼミ、ルリボシヤンマ)
 ・エゾヒタキ保護(商工会、衝突死)
 10日快晴20.0度・江戸屋(サハリン、モネロン島見えた
 ・五番地アキアジ日に20本あげる人もいる。
 ・久種湖コガモ50羽・江戸屋漁港シギが鳴く
 11日快晴22.7度。・利尻クッキリ
 12日朝雨のち晴れ18.7度・利尻クッキリ。
 ・宇遠内(エゾリンドウ、イブキジャコウソウ)
 ・元地夕日綺麗に沈んだ。漁り火、星空綺麗
 13日晴れ一時雨21.5度。・利尻クッキリ
 ・利尻山頂白い雪?霜・午後夕立
 14日晴れ13.0度・久種湖(エゾリンドウ)・星空綺麗
 15日晴れ13.5度・キノコの観察会
 ・礼文林道(夕日綺麗に沈んだ。星空綺麗)
 18日曇のち雨のち晴れ20.2度。
 ・コウモリ調査-反応無し・漁り火綺麗・利尻クッキリ。
 19日晴れ19.5度・日の出利尻綺麗・利尻クッキリ
 ・宇遠内歩道(ナギナタコウジュ、エゾリンドウ)
 ・奮部(アオノイワレンゲ、レブンソウ)
 20日晴れ16.3度・日の出利尻綺麗
 ・礼文岳(ムカゴイラクサ実、コバノカキドウシ)
 (ウソ、コマドリ、ウグイス)・月綺麗
 21日晴れ/召国(キアゲハの幼虫がシラネニンジンに)
 ・ミミズハゼ(礼文滝下-小坂)
 22日晴れ15.5度・移入植物フォーラム・晩一時雨
 23日晴れ一時雨18.0度
 ・移入植物除去(桃岩展望台周辺)ノビタキ
 ・知床(海に黒い魚だまり)・夕日綺麗
 ・ヒナコウモリ保護-香深加藤
 24日晴れ18.3度・利尻クッキリ綺麗
 ・コウモリ調査(桃岩トンネル付近で反応あり)
 25日日の出晴れ一時雨11.5度
 ・入舟(アカゲラ)・礼文林道(キジバト)
 ・大備川(サケ遡上)・香深井川(サケ遡上)
 ・オオワシ死体(ベンサシでミイラ状態-川村)
 26日晴れ19.6度
 ・久種湖(キンクロハジロ8、コガモ30)
 29日晴れ16.8度・幌泊ウミネコ赤ウイング-優
 ・鮑古丹アザラシ数頭-鹿川
 30日晴れ19.6度・ほっけ漁。
 ・浜中漁港ウミネコ赤ウイング48黄色(天売)-大石
 ・浜中ウミネコ赤ウイング(天売)-大石・漁り火綺麗

宇遠内歩道その後 宮本誠一郎

さて、2年前に礼文町による道路拡幅が環境省に指摘された「宇遠内歩道」は現在どのような状態なのかご存じでしょうか。あの山道のことを心配している方から、手紙やメールで問い合わせが来ていましたが、やっとひと段落したのでご報告いたします。昨年7月、5人の学識経験の検討委員と礼文町、宗谷森林管理署、環境省からなる「**ウエンナイ歩道周辺における自然回復検討委員会**」が組織され、今年9月までに4回の検討会が持たれました。指摘を受けた地域は国立公園特別保護地域に指定されていますが、宇遠内地区の住民にとっては海が荒れた場合や普段の生活でも大切な道でした。環境省の許可は地域住民の強い要望もあり、1.5m幅の現道を最大2m幅までの歩道整備でした。ところが、工事車両が通った歩道は全線2m幅、最大6m幅にもなっていました。山道脇の高山植物群は工事のために削られて、削ったために不安定になった壁面は風雨で崩れ、これから失われていく可能性の植物生育部分もあります。平成13年7月16日第1回検討会では「植生回復のためには、永い時間が必要で小規模な実験や監視が望ましい」「拡幅で不安定になった部分を安定させなければ通行に危険を伴う」「景観の悪い工作物は撤去することが望ましい」「工事に伴い移入植物が侵入してきている」などの意見が出されました。検討会では第2回(H13.9.17)、第3回(H14.5.28.)第4回(H14.9.19.)と現地調査と意見交換を重ねました。その間、建設業者による歩道維持のため土嚢を積む手直し工事や不要な工作物の撤去、安全柵の着色なども進められてきました。現地調査の際は移入植物の除去、永久方形区による植生調査も行われてきました。そして早急に対策する工事として最後の対策(宝の山のコンクリート壁と七曲の土砂柵)が10月16日に終り、人工物による自然景観への悪影響はかなり薄れたと思います。何度も通いながらこの道は2年間で自然回復の進んだように見えるところもあります。でも冬間近の枯れ野では雨などで削られて歩きにくくなったところも目立ちます。昔のように道の両脇に花々が咲きみだれる状態にはまだまだ年月がかかります。検討会は今後も移入植物除去と植生回復の様子を記録をしていくことになりました。そして問題が発生したら、ただちに集まることになりました。皆さんも宇遠内山道に足を運び花の回復を願って下さい。

標識を付けたウミネコの情報募集中!

・ウイングタグ(水色利尻島、赤色天売島)
 ・カラーリング:赤利尻、黄天売、緑枝幸、青奥尻